



スーパーGT 2016 に AMG カスタマースポーツ 6 チームが参戦

- ・ GT300クラスに新型FIA-GT3モデル「Mercedes-AMG GT3」が4台参戦
- ・ 2015シーズン、海外メーカー中トップの成績を残した「SLS AMG GT3」も引き続き2台参戦
- ・ メルセデス AMG は GT300 クラスでは最大の 6 台体制

メルセデス・ベンツ日本株式会社(社長:上野金太郎、本社:東京都港区)は、2016年スーパーGTのGT300クラスに「AMGカスタマースポーツ」として、メルセデスAMG社が製造・販売するメルセデスAMG GT3およびメルセデスAMG SLS GT3が合計6台参戦すると発表しました。

メルセデスAMG GT3は、2014年にワールドプレミアしたメルセデスAMG GTをベースに、高剛性アルミニウムスペースフレームにより軽量化を図りつつ乗員保護性能を強化しています。また、カーボンファイバーシートパンや高張力鋼板を用いたロールオーバーゲージを採用。さらに、エンジンカバー、ドア、フロントウイング、フロントスポイラーおよびリアエプロン、サイドスカート、ディフューザー等もカーボンファイバー製とし可能な限り軽量化を図るなど、レーシングカーとして極限まで進化しました。

メルセデスAMG GT3の心臓部には、メルセデスAMG独自開発の6.3リッター自然吸気V型8気筒エンジンが搭載されます。これはスーパーGT2015シーズンに海外メーカーの中でトップの成績を残したSLS AMG GT3と同じ高性能かつ信頼性が高いエンジンです。

スーパーGT 2016 GT300クラスにメルセデスAMG GT3で参戦するチームは、GOODSMILE RACING & TeamUKYO(No.4)、GAINER(No.11)、K2 R&D LEON RACING(No.65)、Rn-sports(No.111)の4チームです。SLS AMG GT3で参戦するチームは、R'Qs MOTOR SPORTS(No.22)、Arnage Racing(No.50)の2チームです。メルセデスAMGはGT300クラスに最大となる6台体制で参戦します。

「メルセデス AMG GT」は、「SLS AMG」に続く、メルセデス AMG 社による独自開発モデルの第2弾です。“Handcrafted by Racers.”をスローガンに掲げ、何よりもスポーツカーを愛する人のために、モータースポーツを心から愛する者たちが創り上げました。

「モータースポーツこそが技術力の優位性を何よりも端的に示す」、この確固たる信念に基づき、AMG(エーエムジー)は 1967 年に誕生しました。その名は、創立者のハンス・ヴェルナー・アウフレヒト(Aufrecht)、パートナーのエバハルト・メルヒャー(Melcher)、アウフレヒトの出生地グローザスパツハ(Grossaspach)の頭文字から取られています。当初はメルセデス・ベンツの市販車をベースに独自の改良を施したレーシングマシンを製造し、数々のレースにおいて輝かしい成績をおさめてきました。1988 年からはメルセデス・ベンツと本格的なパートナーシップを組み、中核となるモータースポーツ活動を通して培ったレーシングカーテクノロジーとメルセデス・ベンツの最先端技術を結集し、メルセデスのトップパフォーマンスモデルの開発とエンジンの生産を行っています。

No.	チーム	車両名	監督	ドライバー
4	GOODSMILE RACING & TeamUKYO	グッドスマイル 初音ミク AMG	片山 右京	谷口 信輝 片岡 龍也
11	GAINER	GAINER TANAX AMG GT3	田中 哲也	平中 克幸 ビヨン・ビルドハイム
22	R'Qs MOTOR SPORTS	アールキューズ SLS AMG GT3	黒田 朋宏	和田 久 城内 政樹
50	Arnage Racing	ODYSSEY SLS	伊藤 宗治	安岡 秀徒 久保 凜太郎 加納 政樹
65	K2 R&D LEON RACING	LEON CVSTOS AMG-GT	溝田 唯司	黒澤 治樹 蒲生 尚弥
111	Rn-sports	エヴァRT初号機 Rn-s AMG GT	泉 剛志	植田 正幸 鶴田 和弥



左から、

- No. 50 Arnage Racing
- No. 111 Rn-sports
- No.11 GAINER
- No. 65 K2 R&D LEON RACING
- No.4 GOODSMILE RACING & TeamUKYO
- No. 22 R'Qs MOTOR SPORTS